

●コンパクトを持ち運びに便利な提灯型! 投光機 エポックライト

弊社では、今春、新ジャンル商品として清涼ミスト装置「エポックミスト」と提灯型投光機「エポックライト」を発表しました。「エポックミスト」は、夏の猛暑を背景にテレビや新聞にも取り上げられ大変ご好評頂き、一部のお客様には品切れのためにご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。そして、これからの季節、日没も気になる時期をむかえ、エポックライトをもう一度ご紹介させていただきます。

目にやさしい“エポックライト”

近年、夜間工事や屋外のイベント会場の照明には、スポットライト式の直接照明機に替わり、間接照明機が多く使われるようになりました。三笠の“エポックライト”は、投光カバーで直接光を遮るとともに拡散させ、ソフトな光で周囲を万遍なく照らしてくれます。光源の眩しさが緩和されますので、特に夜間の道路工事現場では、通行人や車・バイク等のドライバー、そして作業員の方々が光源を直視しても幻惑されることが少なく、人にやさしい照明機です。

高効率・長寿命で経済性に優れた“メタルハライドランプ”を使用

“エポックライト”のランプには、

三笠ニュース休刊のお知らせ

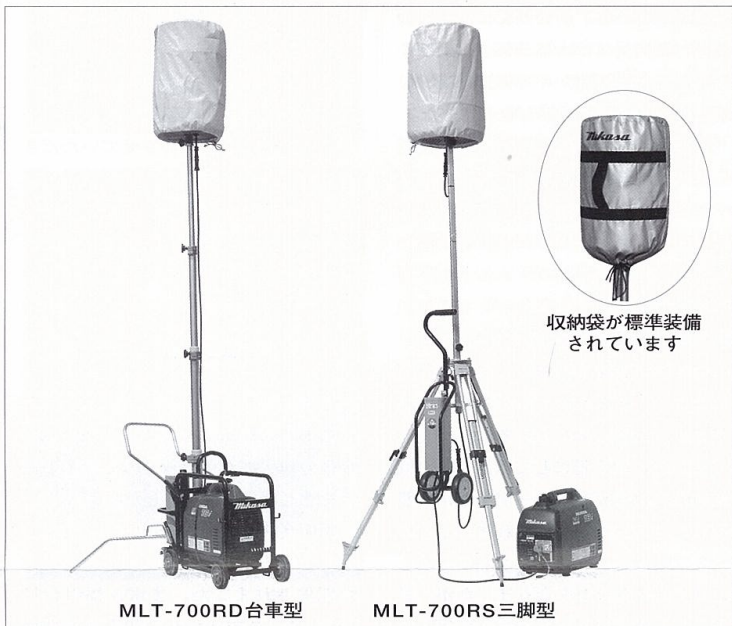
三笠ニュースは今号をもちまして休刊させていただきますことになりました。ご愛読いただきました皆様ならびに関係者の皆様には今までのご愛顧に心より感謝申し上げます。

「あなたと三笠を結ぶホット情報」として昭和38年（1963年）4月の創刊以来45年にわたり製品情報や社内外の出来事などをお伝えしてまいりましたが、昨今の社会情勢の変化により紙媒体の三笠ニュースが担い続けてきた使命も完了したものと結論付け、ここで一区切りつけようとして決定した次第です。

今後はホームページ上でさまざまな情報を提供して行く所存ですのでご支援を宜しくお願いします。

三笠産業株式会社ホームページ

http://www.mikasas.com



MLT-700RD 台車型

MLT-700RS 三脚型

収納袋が標準装備されています

メタルハライドランプ（高輝度放電灯=HID）を採用しています。HIDは高圧水銀灯に類似して発光管内にハロゲン化金属（メタルハライド）の混合蒸気を封入して電極間の放電を利用した構造になっています。フィラメントがないので、白熱電球に比べて長寿命・高効率な照明ではありますが、HIDランプを点灯するには専用の安定器が必要となります。

軽量・コンパクトな“エポックライト”

一般的なバルーン型照明機は、投光部を送風装置で膨らませ、表面積で明るさが確保されていますが、風で倒れたり、工事の邪魔になったり、膨らませた薄い布が傷つき、破れたりして作業に支障をきたす事がありました。また、屋内では送風音も気になります。

そこで、三笠が開発したエポックライトはファンレス構造を採用し、投光部を円筒型のコンパクトな設計にしました。外径は従来の間接照明機400Wクラスの半分以下・1000Wクラスの3分の1以下まで小型化し、すっきりとした形状とともに明るさもしっかりと確保しました。投光部は着脱式ですのでライトバン（本体収納時最大高さ：895mm）でも容易に運搬できます。

“エポックライト”の主な特長

- ・ 紫外線に強く、裂け難い素材を採用したランプカバーは、着脱も簡単です。
- ・ 保管時や輸送時に投光カバーの汚れを防ぐ収納袋を標準装備しています。
- ・ 台車型、三脚型、そして投光部と安定器だけをセットにした安定器型の三型式から、お客様の用途に応じて選択することができます。
- ・ エアダンパーをつけスムーズに降下を可能にした台車型の三段式ボールは、衝撃でランプを痛めることなく作業が進められます。
- ・ アウトリガーと駐車ブレーキが標準で装備された台車型は、安定感を持たせた設置を可能にしました。夜間工事やイベントでの照明器具としてだけでなく、災害緊急時にも役立つ“三笠エポックライト”は収納場所を選ばず、さまざまな用途にご活用頂けます。

この機会に是非お試し頂けますようお願い申し上げます。

型式	寸法(mm)				電圧(V)	電流(A)	投光機				質量(kg)	発電機仕様	
	最大高さ	長さ	幅	吊り高			周波数(Hz)	種類	出力(W)	全光束			使用可能周囲温度
MLT-700RDライト台車型	3,000	1,200(440)	1,110(855)	1,440	100	始動時8 安定時8	50 または60	メタルハライドランプ	700	64,000ルーメン	-20℃ ~40℃	45	出力0.9kW以上
MLT-700RSライト三脚型	3,080	1,440	1,290	2,100								28	
MLT-700RCライト安定器型	投光部と安定器のみのセットです											20	



秋風起って白雲飛ぶ／草木黄ばみ落ちて／雁 南へ帰る…。漢の武帝が作った「秋風の辞」だそう。紀元前100余年も昔の叙景叙情にとことん驚く。「草木黄落」という熟語の原拠だとも言われるが、私は恥ずかしながら「黄落」の訓みに自信がないまま過ごしてきた。コウラクと読んだりオウラクと読んだり、この歳になりやっと漢和と国語辞書をひいて勉強した。黄金、黄梅、黄檗宗、黄河、黄泉、黄塵黄沙、水戸の黄門などなど、コウとオウの読み分けに興味津々の学生気分だった。さらに、初老は髪白く、大老は髪黄となり、よって金毛、寿老の称とあって、黄は老人・聖人そしてなぜか小児の称でもあると漢和辞典に出ている。こうなるともう、黄はコウでもオウでもいいじゃないかと、悠々と広い度量でおおらかにアバウトで……の思いがつの。

ことはは酷暑異常の夏だった影響か、サクラ並木の落葉が紅葉を待たずに散り急いでいる。みごとな黄落である。秋は紅葉といわれるけれど、私など都会人種には黄落の秋のほうがよほど身近で親しめる。夕陽に照りかがやく銀杏並木から、やがてはらはらと舗道に散り敷かれる黄色のカーペット。街路樹トウカエデの黄色もみごとである。後期高齢夫婦の哀切な旅を描いた「黄落」という題名のドラマがあった。それも一つの視線であり感性ではあるが、いまの私は明るく目の覚めるような黄金色の黄落のほうが好ましい。ところで「秋風の辞」は歓楽極まって哀情多し／少壮幾時ぞ／老を奈何せんと結んでいる。三笠ニュース休刊にともない「窓からの想」も当分お休み。これもまた爽やかな「黄落」といおうか。長いご愛顧にお礼を申し上げます。

北海道三笠会 第23回定時総会 親睦と結束を 高めて和やかに…

去る7月23日、朝からの雨も午後には曇りに変わり、過ごしやすい気候の中、定山溪温泉はホテルミリオネを会場に、第23回北海道三笠会定時総会が開催されました。

特設会場を舞台に、総会に先立って行われた新製品説明会では、新世代機種として期待されるMTX-60型ランマー、またMT-55L-SGK型防音ランマー。三笠の新機軸、エボックシリーズとして、エボックライト並びにエボックミスト等を紹介させて戴き、会員の皆様と活発な意見交換をさせて戴く事が出来ました。今後、道内でのこれらの製品の活躍が大いに期待出来ると感じています。

会場を移して行われた定時総会では、北海道三笠会副会長の富山政明様（日本建機サービス販売株式会社 取締役会長）より、皆良田会長（前ナラサキリース株式会社 代表取締役社長、現ナラサキ産業株式会社 取締役執行役員営業企画室長）が7月に親会社へご栄転の運びとなり、北海道を離れられた旨報告があった後、「道内は厳しい環境が続きますが、先程の発表会で紹介を頂いた新機軸商品などの三笠製品を今後の活動に大いに生かしていきたいと思います。」とのご挨拶を頂き、続いて弊社京谷社長より、三笠産業の現況の報告の後、「三笠産業は、企業としての社会的責任を重視した経営に努めて参ります。会員皆様と三笠産業が長期的な信頼関係を築き、また、北海道三笠会を通じて共に発展していける様な関係作りを宜しくお願い申し上げます。」と挨拶致しました。今期は役



製品説明会



挨拶する富山会長

員改選が行われ、新会長には富山副会長が、副会長には大里公平様（ナラサキリース株式会社 代表取締役社長）が選出され就任の運びとなりました。

温泉で汗を流した後の懇親会は、新任の大里副会長の乾杯のご発声でにぎやかにスタート。活発な情報交換が会員同士で行われ、途中ビンゴゲーム大会で大いに盛り上がり、あっという間に2時間は過ぎ、名残惜しくも伊藤顧問（北海産業株式会社 取締役会長）の中締めでお開きとなりましたが、明日のスコアを考えつつも、2次会へと盛り上がりは続く事となりました。

翌24日、北海道にしては蒸し暑い気候の中、恵庭カントリー倶楽部にて懇親ゴルフコンペが開催されました。コース攻略に暑さとの戦いも加わり難しいコンディションとなりましたが、暑さを吹き飛ばすプレーが繰り広げられた結果、杉村康之様（ナラサキ産業株式会社 建設機械課課長）が、見事この熱戦を制されました。

会員の皆様には、日頃より北海道三笠会の運営にあたり、ひとかたならぬご協力を頂いておりますこと、厚く御礼を申し上げます。会員各社の今後益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

札幌営業所 越後記

第24回東北三笠会 定時総会開催 新開発商品の 紹介など熱気充満

第24回東北三笠会定時総会は、9月25日（木）～26日（金）の二日間に亘り、宮城県の松島海岸「ホテル松島大観荘」にて開催されました。あいにくの小雨模様にも拘らず、新会員様を含め多数の会員様に会場へと足を運んで頂き、にぎやかに幕を開ける事となりました。

総会に先立って行われた三笠製品説明会では、弊社技術研究所の吉田所長から多数の商品を紹介させていただきました。特に新開発の三笠エボックライトには注目が集まり、新しい分野への興味も重なり、質問が集中しました。また防音型のMT-55L-SGK型ランマー、機能が大幅に向上した新製品のMTX-60型ランマー、MVH-206DS型パイロコンパクターなど付加価値を高めた商品の実演を交えてインパクトのあるご紹介をさせて頂きました。今後各地へ拡がって行くのではと手応えを感じる事が出来ました。

説明会終了後は会場をコンベンションホール藤に移して第24回の定時総会が開催されました。まず、福田会長（幸和リース株式会社 代表取締役社長）より「原材料価格の上昇やアメリカの経済減速、世間の景気悪化により、大企業も力を失い、大変先行き不透明感が強まっている。また設備投資の先送りから、工事の中止など需要が大幅に減少している最中です。公共工事の依存度が高い東北地方の中小規模の会社は厳しい状況が続いており、毎週のようにあちらこちらで倒産の話が聞かれます。いかに倒産につきまとわないようにするかが、売上げよりもむしろ大事になってきている感じです。今後は『雨にも負けず、風にも負けず』で三笠会の成功と三笠会員の発展を願



製品説明会



挨拶する福田会長

ます。」とご挨拶を頂きました。

続いて弊社の京谷社長より「三笠産業では今後のスローガンとして、三笠会の全国大会を開催する、という事を掲げております。また製品に関しては新ジャンル商品であるエボックシリーズの開発に力を入れ、順次に発売してまいります。今後ともお客様との長期的な信頼関係を築いていき、皆様と共に発展していきたいと思っています。」とご挨拶申し上げました。

議案の承認、新会員様のご紹介など、スムーズに進行して総会は終了。温泉で汗を流していただいた後、懇親会へご参集いただきました。

懇親会は長谷川副会長（大成産業株式会社、代表取締役社長）の乾杯の御発声で和やかにスタート、楽しい会話が会場で交わされるなか、ビンゴゲーム等も交えながら楽しいひと時を過ごしていただきました。高橋理事（株式会社セントラル 代表取締役社長）の中締めをもって懇親会は終了となりましたが、その後は二次会場に場所を移して、カラオケで日頃鍛えた自慢のノドを披露して頂いたり、親しく談笑されたりと、夜の更け行くのも忘れて楽しい時間を過ごして頂きました。

東北三笠会はお蔭様で24年目を迎えることが出来ました。会員の皆様方のご協力に感謝申し上げますとともに更なるご支援とお力添えをお願い申し上げます。

仙台営業所 佐藤記

bauma China 2008開催 三笠産業は4回目の出展

来る11月25日（火）から28日（金）までの4日間、中国・上海においてアジア地域最大の国際的な建機専門見本市「bauma China 2008」が開催され、三笠産業も出展いたします。

bauma China は2002年から隔年で開催されており今回で4回目の開催となります。ドイツ・ミュンヘンで開催される「bauma」同様国際的な建設・建機業界の専門見本市で、回を重ねるごとに規模を拡大し、前回2006年の第3回開催では30カ国から1,000を超える企業が出展し、119カ国から8万人以上の来場者を集めました。



前回のbauma China

三笠産業では第1回以来毎回出展し、特に中国、東南アジアの市場に向けて技術力をアピールしております。お隣の中国での開催とあって、毎回日本からたくさんのお客様がお見えになります。今回も視察にお出かけになる方がいらっしやいました是非三笠のブースにもお立ち寄り下さい。

『三笠』がある風景

場所 群馬県館林市
機種 エボックミスト（一体型）
撮影者 小島一晃さん
（群馬県館林市）

「たてばやし七夕まつり」での1コマです。かわいい浴衣を着た女の子たちがエボックミストに手をかざして涼しさを確かめていました。（カラーで掲載できないのが残念です：編集者）

なお、館林市が駅前に設置したクールゾーン「緑のミスト通り」にはNHKなどマスコミ各社が取材に訪



れ、改めて地球温暖化問題の関心の高さが認識されました。

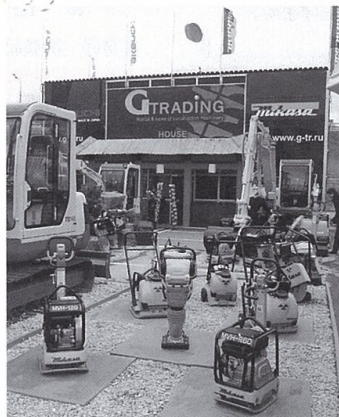
アトリーチナ!!

ConExpo Russia (コネクスポロシア)に出展 展示スタンドに日本風家屋と石庭

「イボンスカヤ テクニカ アトリーチナ」

覚えたばかりのロシア語で、行き交う人々に声をかける。「日本の技術(日本製)は最高ですよ」といったような意味である。他に「ノメラ アジン」(No.1)という言葉も連呼する。三日目くらいになると、通り過ぎようとする人の腕をつかまえてデモ場に誘ったりする。まんまと捕獲したお客さんに、MTXランマーの試運転をしてもらうのである。学生時代に経験した「呼び込み」のアルバイトを思い出した。あの時は小声の呼び込みだったので少し違うか。...いや、まったく違います。冗談です。MTXシリーズは三笠の技術の粋を極めたランマーである。実際に運転してもらくと、絶妙で素晴らしい操作性をたちまち得心することになる。これが狙い。

2008年9月15日～19日 モスクワのクロカスエキスポ(国際展示場)にてコネクスポ ロシア展が開催された。ご存じの方も多いと思うが、主催者はラスベガスで開催されるコネクスポ展と同様に米国のAEM (Association of Equipment Manufacturers/機器製造業者業界) という団体である。今回がコネクスポ展のロシアでの初開催となる。屋内、屋外展示を含め3万平米、250社程度の出展があり、今後さらに拡大していくものと思われる。弊社は、パートナーであるG-TRADING RUSとともに今回の展示会で製品を披



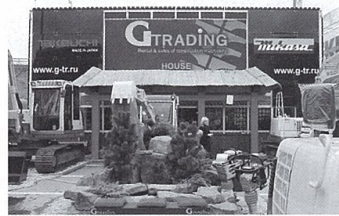
展示スタンド正面より



MTXのデモ 右はコンスタンチン社長露し、三笠のブランドをあらたに発信していくことになった。京谷社長をはじめ三笠のスタッフ2名が同一イベントに馳せ参じた。

展示会の印象を問われるならば、とにかく寒い一言である。

日本を出国するときは30度に迫る暑さであったのが、最高気温10度前後で、



展示スタンドには日本風の家屋と石庭



関係者勢揃い

夜半はぐつと下がって3、4度となる温度差に、最初は体がついていかない。おまけに、ホテルの暖房はセントラルヒーティング(ボイラー式)であり、10月からでないと稼働しないという。初日はとくに寒くて、部屋に備え付けてあったタオル地のガウンにバスタオルを首に巻いてベッドにもぐり込むはめになった。展示スタンドも屋外にあり冷えに悩まされた。期間中、曇りがちの日々で、風が吹けばぐつと体感温度も下がり、機械のデモで暖を取るといふ具合である。

展示スタンドのデザインは、G-TRADING RUSのサビナ女史が中心になってデザインされた力作で、日本風家屋や石庭を擬した造作が、日本製=信頼=High Statusといったイメージを効果的に訴求している。(写真)ちなみに、ロシアにおける日本製の評価は極めて高いことは、日本製を販売する企業が社名を日本風に模して命名していることからよくわかる。Takao motor, Akita motor, Tokiwa, Sumotori, Tokyo, Osakaなど。ロシア人にとっては違和感よりも日本製を扱う企業という評価の高い

イメージをもつようなのだ。

コネクスポ ロシアの開催は今回が第一回目、重機メーカーを中心とした出展であったという印象があり、小型建機のカテゴリーではまだまだ全社勢揃いという段階ではなかった。その数社出展された小型建機メーカーの中でも、G-TRADING RUSのスタンドは、ビジターや出展メーカーの目を引く秀逸なものであったのではなかったろうか。小型建機自体の認知度は、依然高いとはいえないレベルだが、それだけに開拓意欲を引き立てられる。

振り返ってみれば、体感温度は低かったが、スタッフの販売にかける意気込みは熱く、その熱情が我々に伝染し、チームとしての一体感が否が応でも高まることを実感する出張であった。ちょうどこの展示会が開催された週に、リーマンブラザーズの破綻やAIGの経営危機が伝えられた。先行きが不透明で不安心が増大する中での決起であったが、ロシアチームは常に前向きだ。外部環境がどうであろうと、やらねばならないことは数多くある。ビジネスそのものが多様化している現在ではあるが、人と人とが織りなす関係性において、心を開いて交信する大切さ。それを実践していくことが三笠の信条であると思う。これからも現地スタッフ達と触れあいながら、三笠イズムを醸成していきたい。

「ミカサ テクニカ アトリーチナ ノメラ アジン!!!!」

(文責 ふの字)

末筆ながら、G-TRADING RUSならびにジートレーディング日本側スタッフの皆様へ、出展に至るまでのご支援に深謝いたします。スパシーバ。

宮崎県でMCV-727面取り機を納入

この度、宮崎県の稲尾リース株式会社(本社 延岡市本小路 代表取締役 甲斐 和徳氏)様にMCV-727面取り機を採用していただきました。九州第一号です。

稲尾リース株式会社様は昭和47年4月に設立され、現在は宮崎県下9ヶ所に営業所・出張所を置く、九州地区の有力なレンタル会社です。

宮崎県といえば東国原知事ですっかり有名になりましたが、皆様には南国のイメージがあり、このMCV-727面取り機は必要なのではないか?と思われる方も多いと思います。しかし、高千穂地区やえびの地区では冬には雪も積もりますし、五ヶ瀬地区にはスキー場もあります。そして、甲斐社長様が宮崎県でも必要不可欠な機械と判断され、この度のご採用となりました。

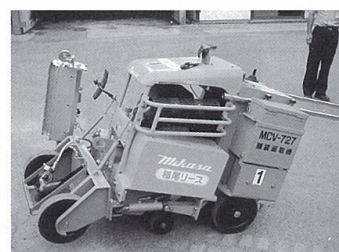
このMCV-727面取り機を使用する



説明会の模様

業者の最大の悩みであったアスファルトの補修時の新旧接合面の剥離を防ぐ方法として開発されました。

従来の工法は垂直カッターによる切断の為、切断面が垂直かつ滑らかで、密着性が悪く、長い間には接合部に徐々に隙間が出来てしまい、その隙間から路盤に雨水等が侵入する原因となります。特に寒冷地におきましては、道路の地盤凍結によるひび割れや不陸(でこぼこ)など、凍上現象による道路



ト舗装切断面の面取りを行うことを原則とするもので、施工対象となる工事は既設アスファルト舗装を打換える全ての工事となっております。納入時には三笠産業の開発担当者指導のもと日新興業株式会社(本社 宮崎県延岡市本小路 稲尾リース株式会社様の親会社)様・北方ブランドにて実際にアスファルト舗装を想定した実演コースにて舗装面取りを行い、取り扱い説明等を行ないました。稲尾リース様の各営業所所長様や日新興業株式会社様、約30名の方々に集まっていたき、非常に関心を持って見ていただきました。今後、この九州第一号のMCV-727面取り機が宮崎県下で活躍する日は近いと思います。稲尾リース様には今後益々のご発展とご健勝を社員一同お祈り申し上げます。三笠建設機械(株)九州営業所 川関記

グランドフェア2008 “産業と暮らし” 活況

7月4日(金)5日(土)の二日間、毎年恒例の「産業と暮らしのグランドフェア2008」が今年も盛大に開催されました。今年は「技術と人で応えるチカラECO-近未来の第一歩に」をメインテーマに掲げ、会場となった幕張メッセは斬新さと先進性を限りなく追い求めた出展メーカーの熱意とパワーが漲ってありました。

三笠のブースでは、従来から好評いただいているMT-55Lランナーを初め、プレート、カッター、振動ローラー等々、三笠産業の根幹をなす製品がラインナップされました。また今年が目玉製品として清涼ミストクーラー「エポックミスト」と提灯型投光機「エポックライト」が本格デビューを果たしました。「エポックミスト」は、夏のヒートアイランドや猛暑を緩和し、涼しい環境を提供するべく加わった三笠の新ジャンル商品です。一体型WM-500と分離型MWM-1002の2種類を展示し、屋外の実演コーナーでは強い日差しが照りつける中、一服の清涼感を求める一般ユーザー様や、製品に興味を持つお客様の耳目を集めました。「エポックライト」は、軽量・持ち運び便利で、道路の夜間工事やイベント会場などで高い需要が見込まれます。用途に合わせて台車型MLT-700RDと三脚型MLT-700RSを展示しました。

近年の建設業況を鑑みるに、さすがに即決即売とは中々いかず、購入を検討するお客様との間で品質や使い勝手



グランドフェア(東京)



グランドフェア(東北)

を含めた鋭い質問やご指摘もあり、建設業界を取り巻く景気の厳しさを痛感する一方で、メーカーとしてもより良いモノづくりに取り組む大切さを改めて感じました。二日間を通して、メインテーマでもあった「技術と人で応えるチカラECO-近未来の第一歩に」その名が示すとおり大きな手応えを掴んで、活況を呈した二日間は幕を閉じました。

なお「産業と暮らしのグランドフェア2008」は関東以外に下記の4か所で開催され、多くのお客様が詰めかけました。

- ☆東北(仙台) 7月25日、26日 夢メッセみやぎ
- ☆中部(名古屋) 9月5日、6日 ポートメッセなごや
- ☆九州(福岡) 9月12日、13日 マリンメッセ福岡

☆関西(大阪) 9月19日、20日 インテックス大阪
最後にこのイベントを大成功に導く為に尽力され、製品PRの場をご提供頂いたユアサ商事株式会社様に厚くお礼申し上げますとともに、社員の皆様方のご発展ならびにご健勝をお祈り申し上げます。

総務課 鎌農記

営業所統廃合のお知らせ

三笠産業では営業地域の管轄見直しにともない11月30日をもって新潟営業所を閉鎖し、同営業所の業務を弊社館林工場に併設の北関東営業所に統合することになりました。新潟営業所開設以来、長きにわたりご支援を賜りました皆様には改めて厚くお礼申し上げます。

なお、北関東営業所はこれを機に関越営業所と改称いたします。所員一同気持ちを新たに業務に邁進してまいり所存ですので、今後とも変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

「2009三笠カレンダー」をプレゼント

2009年三笠カレンダー『古今吟遊』(永井都画伯による王朝絵巻)を抽選で20名の皆様に差し上げます。11月20日までに三笠ニュース編集室「カレンダープレゼント係」宛にお申込みください。



三笠クイズ VOL.71

(問題) タテとヨコのかぎを解いて1~5の文字をつなげると、秋にふさわしいことばが浮かんできます。さて何でしょう。

	ア	5		イ	2
A	B			D	F
	ウ				
			C		
4	エ	1			3
				オ	
				E	
			カ		

- ヒント
ヨコのかぎ
ア. シャツを着ても、ここを折らずに立てるのがオシャレという見方があります。
イ. 悪いことをしたらやはり償うべきです。
ウ. 毎年多くの観光客が訪れるドイツの小都市、この都市にまつわるグリム童話「○○○○の笛吹き男」は有名。
エ. 論文を発表し、合格した者に授与される称号。
オ. 戦争や競技などで、ともに戦うのは味方。では戦う相手は。
カ. 伝統のある有名な学校や家柄の総称。

- タテのかぎ
A. 旅先から届くとんだか嬉しくなりますよね。
B. 企業やお役人の不祥事が外部に漏洩すること。
C. 飲み過ぎてろれつが回らない状態。飲酒は程ほどに。
D. 千年生きると言われている鳥です。5月末までは日本航空(JAL)のマークにもなっていました。
E. うな重に付いているのは○○吸。勇気があるかどうかを試すのは○○試し。
F. 国家が犯罪を犯した者に罪を問うのは刑事事件、人と人が争うのは○○事件。

応募の方法
官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には抽選の上10名様に記念品を差し上げます。
●あて先 ☎101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-3 三笠産業株式会社「三笠ニュース」編集室
●締切り 2008年11月20日(木)消印有効
VOL.70の答えは「オランダカ」でした。次の10名様に図書カードをお送りしました。
駒形敏子様(魚沼市) 岸田麻衣子様(大分市) 岩倉綾子様(大和市)
佐藤剛様(新庄市) 真田耕治様(千代田区) 細川忍様(札幌市)
柳井正雄様(岡崎市) 齋藤敬子様(美祿市) 佐々木裕美様(駒ヶ根市)

氏名 安藤 宏
入社 平成18年
出身地 埼玉県
所属 三笠産業株式会社
営業サービス部
サービス課



—日頃どんな仕事をしていますか?—
埼玉県春日部市にある部品サービスセンターで製品の修理を担当しています。普段は所内で仕事をしていますが、出張修理に出かけることもあります。また、最近では先輩のお供をして技術講習会のお手伝いに行くこともあります。

—今最も関心を持っていることは何ですか?—
今最も関心を持っていることと言えばインターネットで買い物をすることです。社会人になり、余り時間がとれなくなったのでインターネットで買って買い物をするようになりました。インターネットで買うものは、過去に購入したことのあるものが多いです。最近では、スニーカーを2点買いました。自分なりのこだわりがあり、新品で買うこと、同じ型番であることです。そのため生産中止になるものが多く、なかなか思うように手に入りません。今でも何年も前のものを探し続けています。いつかは見つかるかと信じて宝探しのようにこれからも探し続けていきたいと思っています。

—お客様に一言どうぞ—
入社して3年目になります。まだまだ未熟者ですが、早く立派なサービスマンになれるよう日々努力してまいります。これからも宜しくお願ひ致します。

我ら三笠ピープルズ



氏名 吉田 亜由美
入社 平成18年
出身地 埼玉県
所属 三笠産業株式会社
技術研究所

—日頃どんな仕事をしていますか?—
技術研究所の開発部に所属し、主に製品開発における購入部品等の伝票処理やデータ入力、小口現金の管理や出金伝票処理等を担当しております。また、変更通知や技術連絡の発行や庶務的な業務を行っています。

—今最も関心を持っていることは何ですか?—
最近将来の健康やお肌のことを考え、毎朝色々な色(赤・緑・黄色等...)の野菜ジュースを飲んでいたのですが、最近新たに購入しようになったのが「豆乳飲料」です。イソフラボンは凄いらしいです。200mlタイプの物なのですが、種類がとても豊富で(ノール・バナナ・ココア・黒ゴマ・抹茶蜂蜜・紅茶...)などがあります。私の好きな味は、豆乳独特のクセが少ないココアと紅茶なのですが、友人のオススメは【焼いも味】だそうです。コレが意外といけるらしいです。

—お客様に一言どうぞ—
三笠産業に入社して、多くの方々に支えられながら2年ほど経ちました。まだまだ勉強不足で、ご迷惑をお掛けする事ばかりですが少しでも皆様のお役に立てるように頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。